

第 38 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2009 年 6 月 24 日(水) 16 時 10 分～17 時 20 分

場所: 管理棟 2 階 第一応接室

出席者: 横山孝男部会長、栗野宏、松田則男、大町竜哉、小山明夫、新関久一、神戸士郎、奥山澄夫、小池邦博、高畑保之、鈴木清一、山崎洋一郎各委員、小室秀一編集局員、斎藤ひろみ編集補助員、細谷朋宏氏((株)ぎょうせい)、村田氏((株)ぎょうせい)

欠席者: 片山維子氏

【配布資料】

[資料 38-1] 「今月の話題」の進め方について(改訂)

[資料 38-2] **Journal 掲載研究事例等まとめ** [3 ページ/2 枚]

[資料 38-3] 「百人の声」原稿依頼状況 [他原稿等] [13 ページ/7 枚]

[資料 38-4] 部局史進捗状況一覧 (2009.6.24)

[資料 38-5] スタッフ [生体センシング機能工学専攻] [4 ページ/2 枚]

[資料 38-6] 工学部通史執筆進捗状況

[資料 38-7] 山形大学工学部 100 年史年表 (平成元年)～ [4 ページ/2 枚]

I) 報告事項

1. 横山部会長から以下の報告があった。
 - ・ 百年記念誌の特集記事に候補に関して、部会から多くのノミネートがあった。これらの内容の取捨選択について工学部長ならびに広報委員と相談しながらオーソライズすることにした。
2. 斎藤編集補助員から百年史誌部会 web site に関して、議事録ならびに今月の話題を更新した旨、報告があった。
3. 小室編集局員から、今月の話題について報告と執筆依頼があった。来月は横山部会長、その後、資料 38-1 に記載した順番で執筆をしていただく。
4. 米沢工業会誌 (No.145、2008 年 6 月発刊) に関連記事が掲載されている旨、報告があった。
 - ・ 横山孝男部会長「百年史部会活動状況」 p.14
 - ・ 小関栄助氏(修 K 昭和 48 年修了)「米沢高等工業学校「大竹多氣」初代校長との出会い」 p.70-71
 - ・ 小野榮氏「米沢の歴史夜話 《第 23 回》 藩政時代の刑罰」 p.72-73

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌

(1) 記念誌に掲載する具体的な事例の選定について、松田 J 班長から資料 38-2 に基づき説明があった。

- ① 記念誌に掲載する研究事例等について、(株)ぎょうせいと相談した。その結果、4 つの象限 A B C D に掲載する内容に関して、部会員からの提案が多いため、スペースが足りなくなることが予想され、状況によっては他のセクションに移すことがありうるので、了解されたいとの要請があった。
- ② 特集 2 の「4 地域に根差し開かれた大学」に関しては掲載候補が多すぎる、絞る必要があるとの説明があった。
- ③ (株)村田氏から特集に関する趣旨の確認と以下の執筆側としての骨子説明があった。
 - ・ 『四つの象限と工学風土論』は米沢の風土と工学部をテーマに執筆することを考え、当初 4 ページ程度の内容を想定していた。一般の人も読みやすいものにした

いと考えている。一般的な風土論は民俗学や気候を主体としている。本特集に関しても風土を重点的に扱い、工学部に関して直接的な話題は少し触れる程度にしたい。例えば象限 C において吉本隆明氏の話題に触れることくらいはある。今まで提出したものを最終稿に近いものと考えていただきたい。

- (2) 記念誌『百人の声』に関して松田 J 班長から資料 38-3 に基づき説明があった。
- ・ 『百人の声』の寄稿小論文は 48 件集まった。今後、原稿の確認と修正を進めたいと考えている。名前の漢字の確認、修了年・卒業年は年度でなく、年で記入すること。大学院の場合は修了、学部は卒業と記入することなど。修正は赤字で行う。
 - ・ デザインや用字、用法の確認・修正、統一作業等は(株)ぎょうせいで行う。論文の配列は検討が必要であり、Journal-WG と相談しつつ進める。
 - ・ 現在のテーマ③「科学と学際」の論文が少ない、との指摘があった。
- (3) 記念誌の進捗状況に関して、(株)ぎょうせい・細谷氏から説明があった。
- ・ これから『特集 2 現代山大工学部事情』の取材を始める。「1 最先端ラボラトリー」「2 目指せ! 理系ガールズ」「3 産官学連携研究」「4 地域に根ざした開かれた大学」の各テーマに添うように研究概略の下調べなどを通して提案された取材候補者を絞り込む作業を行ない、7 月草々には取材を開始したい。
 - ・ 四つの象限と工学風土論「象限 D-アルカディア・デッサン」に関してイザベラボードが 7 月 20 日付近に置賜を歩いているので、そのあたりの日程で峠などを歩き、取材を行う。
 - ・ 8 月 1、2 日に開催される科学フェスティバル、8 月 7 日に開催されるオープンキャンパスについて写真撮影ならびに取材を行うので、よろしくご協力いただきたい。

2. 100 年史

(1) 部局史の進捗状況報告

- ① 部局史の進捗状況に関して、栗野委員から資料 38-4 の提示があった。
- ② 事務ユニットから小関事務ユニット長が 9 月末までに執筆することになり、12 月までに校正を進めることとなった。
- ③ 小山委員から一覧表の日程について(E)原稿執筆は 2009 年 9 月、(F)データ作成・文字校正は 2009 年 12 月の誤りであるとの修正意見が出された。
- ④ 横山部会長から原稿の目途を 12 月までに行なって欲しい旨、要望が出された。
- ⑤ 神戸委員から生体センシング機能工学専攻のスタッフに関する説明があった。生体センシング機能工学専攻は協力講座や医学部の教員を中心に教員の入れ換わりが激しいため、資料 38-5 の表を作成した。
- ⑥ 神戸委員から、資料 38-5 のようなスタッフの変遷一覧を各学科で作成することの提案があった。これに対して、栗野委員から「膨大になってしまうのではないか」、小室編集局員から「学科毎で良いのではないか」などの他、「一覧表を作成するとすれば小室編集局員が行う」「優先順位を下げて片山維子委員のサポートの下で資料の整理を行う」などの意見や提案がなされた。議論の結果、今の時点では統一するか否かは決めないで各自の進行を見守りたいとした。

- (2) 工学部通史執筆進捗状況に関して資料 38-6 に基づき検討した。
- ① 第 9 章「工学研究科及び理工学研究科の発足」は渡辺克巳先生に、第 10 章「入試過誤」は奥山克郎先生に執筆いただくことになった。
 - ② 第 6 章「学部の拡充」は新関委員、第 12 章「大学の将来計画と創立百周年記念事業」は高畑委員の担当なので作業を進めるようコメントがあった。第 12 章「大学の将来計画と創立百周年記念事業」は広報と相談しながら進めるよう助言があった。
- (3) 斎藤補助員から 80 年史以後の年表が無い場合、年報を元に主な項目をピックアップし山形大学工学部 100 年史年表(平成元年)～[資料 38-6]を作成した旨、報告があった。

III) その他

- ・ 鈴木清一委員が 7 月 1 日付けで医学部総務に異動することになった旨、報告があった。
- ・ 次回の会議は 7 月 22 日 (水) 16 時 10 分から 第 1 応接室(予定)にて行う。

2009 年 7 月 21 日